

令和 9 年度予算編成方針(案)

令和 8 年 9 月 8 日
庁 議 資 料

令和 8 年 9 月 日
狛江市長 松 原 俊 雄

令和 9 年度予算は、市長就任 3 期目の初年度となることから、先に所信表明で示した市政運営を推進するため、これまでの取組の成果を着実に積み重ねるとともに、市民一人ひとりが安心して快適に、そして笑顔で暮らせるまちづくりの実現に向けて、後期基本計画に掲げる施策を計画的かつ効果的に展開し、将来を見据えた持続可能なまちづくりをさらに前進させる必要がある。

一方で、物価上昇や人件費、原材料費、エネルギー価格等の高騰は、市民生活や地域経済に広く影響を及ぼしている。国においては、物価上昇を上回る賃上げの流れを支える観点から、労務費等の上昇分を適切に反映する価格転嫁を進めており、本市においても、こうした社会経済情勢の変化を十分に踏まえた対応が求められている。

このような状況の下、令和 9 年度予算は、まず、市民の暮らしを守り、「生活の質の向上」を目指すことを基本に編成するものとする。特に、物価高の影響を受ける市民生活への配慮を徹底し、安全・安心の確保と必要な行政サービスの安定的かつ継続的な提供に努めるとともに、各分野において、人にやさしいまちづくりにつながる施策を重点的に推進するものとする。

また、予算編成に当たっては、政府の進める価格転嫁の考え方を踏まえ、委託、工事、物品調達等において適正な積算及び契約の確保に努めるとともに、市内事業者の事業継続や地域経済の下支えにも配慮するものとする。さらに、市長就任 3 期目における政策課題については、先に実施している行政経営会議（サマーレビュー）の結果を踏まえ、必要性、緊急性及び事業効果を十分に検証した上で、行財政改革の視点に立った施策展開を図ることとする。

あわせて、限られた財源を最大限有効に活用するため、既存事業や業務の見直しを徹底し、一層の効率化に努め、効果の高い施策への重点化を図るとともに、国や都の補助金・交付金その他の特定財源の積極的な確保に努め、将来負担にも十分留意しながら、持続可能な財政運営を徹底するものとする。各部においては、本方針を十分踏まえ、社会経済情勢の変化及び市民ニーズを的確に捉え、部局横断的な連携の下、成果と課題を明確にした上で、メリハリのある要求とし、併せて業務の省力化・効率化に努めることで働き方改革にもつなげていただきたい。

以上、先に企画財政部長が通知した「令和 9 年度予算編成要領について」に留意の上、適切な予算編成に努めていただきたい。